

○受入廃棄物

(単位:t)	
廃棄物の種類	処理量 A
廃プラスチック類	123,456
木くず	737
がれき類	4,713
ガラスくず	1,019
金属くず	2,655
動植物性残渣	3,305
汚泥	500
合計	136,385

○処理内容

(単位:t)		
処理方法イ	廃棄物の種類	処理量
選別	がれき類	1,581
	木くず	500
	金属くず	2,124
	合計	4,205

(単位:t)		
処理方法ロ	廃棄物の種類	処理量
焼却	動植物性残渣	3,305
	廃プラスチック類	82,304
	ガラスくず	419
	木くず	37
	金属くず	500
合計	86,565	

(単位:t)		
処理方法ハ	廃棄物の種類	処理量
破碎	廃プラスチック類	41,152
	木くず	200
	ガラスくず	600
	金属くず	31
	がれき類	3,132
合計	45,115	

(単位:t)		
処理方法ニ	廃棄物の種類	処理量
脱水	汚泥	500
	合計	500

○中間処理後物の処分等先

(単位:t)			
埋立	種類	埋立処分先	処分量D
		がれき類	<input type="checkbox"/> 埋立産業(株)
合計			581

(単位:t)			
再生利用	種類	販売先	量B
	木くず	〇〇木材(株)	500
	がれき類	(株)△□砕石	1,000
	金属くず	(有)□〇金属再生	2,124
合計			3,624

(単位:t)			
埋立	種類	埋立処分先	処分量D
	燃え殻	<input type="checkbox"/> 埋立産業(株)	200
	ばいじん	"	400
	がれき類	"	3,132
	汚泥	△△海上埋立(株)	200
合計			3,932

(単位:t)			
焼却	種類	委託先	処分量B
	木くず	(株)焼却産業	200
	廃プラスチック類	"	10
	ガラスくず	"	500
合計			710

(単位:t)			
破碎	種類	委託先	処分量B
		がれき類	(株)〇〇破碎
合計			500

例：この部分には、前年度中において処分委託を受けた産業廃棄物の総量を記入してください。

例：①処分業許可証に記載されている『中間処理の方法』を記入し、それぞれの処理量を記入してください。
※ 原紙では、記入欄が2つですが、『中間処理の方法』が3つ以上の場合、新たな枠を作成し、それぞれの処理量を記入してください。

産業廃棄物
処分実績 有・無

例：この欄には、中間処理後物の次の処分等内容（埋立・中間処理・再生利用等）を記入してください。
※この欄は中間処理後物を次にどこに持ち込んだかを記入するものであり、持ち込んだ先（次の中間処理業者）が最終どのような処分を行ったかを記入するものではありません。